

世界華商大会とその周辺事情

2012.2

愛知大学現代中国学部教授

樋泉克夫

1：激変する環境

1-1：空間(+人口)

兩岸三地⇒兩岸四地⇒兩岸五地

中華人民共和国(中国大陸)

中華民国(台湾：90年代初期、中華民国＝憲法で台湾と再規定)

香港(英国植民地⇒中華人民共和国香港特別行政区)

澳門(ポルトガル植民地⇒中華人民共和国澳門特別行政区)

東南アジア(華人的活動禁止・制限⇒禁止・制限の基本的解消)

1-2：意識

●中国＝鄧小平の「先富論」「白猫黒猫論(*「自力更生」「為人民服務」)

●香港＝黄枝連

「中国大陸と香港、および台湾の三地域における政治・経済体系の関係は、日に日に緊密化している。8年、10年後、つまり80年代後期にはアジア太平洋地区に“中国人共同体(The Chinese International Community)”、あるいは“中国人経済集団(The Chinese Economic Community)”が出現する。広東、福建両省での経済特別区建設政策をふくめ、1978年以降の趨勢からして、これは可能なことだ」(『美国二〇三年対“美国体系”的歴史学与未来学的分析』中流出版社・香港1980年)

●様々な経済圏構想

名称	提唱者	提唱時
中国人共同体	黄枝連	1980年11月
中国人経済集団	黄枝連	1980年11月
中国経済系統	黄枝連	1987年秋
中国圏	陳坤耀	1987年11月
大中華共同市場	鄭竹園	1987年11月
中国人的經濟圏	閻明復	1988年8月
亜洲華人共同市場	高希均	1988年秋冬
大中国経済共同体	郭正昭	1988年冬
大中国經濟圏	程明浩(陳玉璽)	1988年冬
外華經濟圏	鄭赤	1988年12月
大中華經濟共同体	「經濟日報」(台湾)社長	1989年1月
中国經濟圏		

大中華経済体	香港台湾貿易協進会	1989年4月
華南経済圏(区)	スタンフォード大学	1989年9月
華東南自由貿易区	周八駿	1989年10月
中華経済共同体	饒美蛟	1989年12月
中国人経済協作系統	黄枝連	1989年12月
海峡兩岸経済圏	金泓汎	1990年春
中国人協作系統	黄枝連	1990年5月
中華経済協作系統	黄枝連	1990年春
中港台経済圏	陳玉璽	1990年11月
中華港経済圏	邱創煥	1991年11月
中華経済圏	「聯合報」(台湾)香港版	1992年5月
大中華経済圏	台湾青創協会	1992年5月
大香港経済圏	童大林、吳明瑜	1992年5月
中港台自由貿易体	蔣麗雲	1992年5月
瓊台跨越産業協作系統	海南省台湾事務工作會議	1992年5月
三個跨越産業協作系統	黄枝連	1992年5月
媽祖(天后)経済協作区	黄枝連	1992年12月

劉融主編『中華経済協作系統論』(三聯書店 香港 1993年)に基づく

2：成長のアジア

85年9月のプラザ合意と「円」の東南アジアへの集中豪雨的投資⇒華人企業の営業規模拡大(新規異業種、投資地域)⇒「成長のアジア」

3：中国の変化

3-1：天安門事件

- 欧米政府による経済制裁、日本企業などの引き上げ⇒開放路線破綻の危機
- 「民主」のつかない外資、日欧米資本が引き上げた“真空状態”の中国市場
- 華人の中国投資＝中国(開放路線の継続＝鄧小平政権の安定化)+華人企業家(強敵のいない市場を確保)⇒双赢(ウイン＝ウイン関係)
- 中国社会が安定することで「難民」が東南アジアに大量に流出する危機を未然に防止

4：華商世界大会の当初の狙い

4-1：李光耀(リー・クワンユー)シンガポール元首相・上級相

「みなさん(＝華人企業家)が経験を相互に交流するなら、その成功が事実であることを証明できると確信する。その中核的要因は儉約、刻苦勉励、教育重視、仲間の信頼と相互扶助で、これを端的に言い換えるなら中華文化の中核的価値観であり、そ

れこそがみなさんに成功を導いた。」

「華人として、われわれ自らが中国の将来から影響を受ける。人々(=中国人、華人以外を指す)の中国と中国人に対する見方は、一般的に海外華人の身の上に跳ね返ってくる。」

「海外華人の成功こそ、中国を鼓舞すると同時に共に行動に立ち上がらせる。」

「海外華人こそ、中国の大いなる発展の強力な牽引力だ。」

「中国以外の華人は中国が混乱を避けるよう手助けすることができる。現実に基づいて方法を講じ、より多くの経済的連携と人々間の交流を重ねることで、中国それ自身が考え方と見方を改め、自然演変ともいべきものを招き寄せることを、彼らは(=中国と中国人を指す)は西側の人々、殊に西側の指導者に認識させることができる。これこそが英明な知恵というものだ」

(1991年、シンガポールで開催の第1回世界華商大会での基調講演)

4-2：榮毅仁(中国国際信託投資集団主席兼中華全国工商聯合会会長)

「艱難辛苦の末に起業し国際的に著名な華人工商企業家は、中国の発展に多大の関心を寄せ、その多くが中国に出向いて自らの目で観察し、投資し、合作して企業を経営し、海外の華商が現に居住している国と中国の経済・技術の合作と交流を推進することができる」(1991年、シンガポールで開催の第1回世界華商大会での挨拶「中国社会の発展と世界の華商社会」)

5：路線変更

5-1：丁関根(中国共産党中央宣伝部長兼政治局委員/93年6月)

「(中国の報道機関に対し)中国警戒論に口実を与えるような経済の成功ぶりを報道してはならない。」

「ことに東南アジアの華人と中国とが結びついた《大中華経済圏》に関する報道をしてはならない。原則として彼らの中国に対する投資状況を報道するな」

5-2：李光耀の第二回大会での基調演説(93年12月)

「我われは同じく中華民族に属していますし、同宗同文であり、ある種の同じ特性を共有しています。だから我々の間では密接な信頼関係を容易に結ぶことができます。だが我われは最終的な忠誠の対象に誠実でなければなりません。まさにそれは現に籍を置く国であり、祖先が籍を置いた国ではないという事実です。(中略) 利益が一致せず、気持ちを通じず、立場の違いを克服しようとする時、これらは悲惨な結果を招くことになるし、我々と我々の住む国の華人ではない人々との間で誤解を生み、摩擦を発生させかねないのです。たとえばシンガポールのように華人が大多数を占めている国家においても例外ではないのです」

6：アジア危機に際し

6-1：ルシアン・W・パイ(MIT 政治学名誉教授)

「しかし世界は、質素、勤勉、家族中心の価値観、権威の尊重、緊密な官民協調という美德が、憑かれたような強欲、短絡的な硬直性、情実主義、あからさまな腐敗といった悪徳へと変貌しうることを知っている。(中略) 家族の結束に関する儒教原則は、リー・クワンユーやシンガポール学派の手にかかったために、国家の意志に応ずる義務へと置き換えられ、ゆがめられてしまった(孔子は、支配者は民衆の主張に耳を傾け、批判を受け入れなければならないと教えている)。たしかに、家族や友人の複雑なネットワーク形成が可能だったのはアジアの「家族的価値」のおかげである。このネットワークが海外で華人ビジネスや金融活動として開花した。しかし時とともに情実主義の罠にはまっていった。(中略) さらに法の支配と不可分の関係にある透明性ではなく、非公式な遣り方に依存して、膨大な資本を呼び込んだうえに、経済活動が拡大するためであれば収益への配慮を無視するような傲慢な姿勢が生まれたため、結局、流れ込んだのと同じ速さでアジアから資本が逃避してしまった。」(「アジアの価値の空騒ぎ」『論座』1999年2月号)

6-2：クリス・パッテン(返還時の香港総督)

「アジアの徳、アジアの価値観、アジアの奇跡、アジアの未来などは、一時もてはやされていたのに、たちまち地に堕ち、今や何ほどのこともないと言われるありさまだ。(中略) アジア経済はまるでロケットのように上昇していた(中略)。中国大陸伝来の価値観が寄与したとは思えない。『アジアの価値観』は、開かれた経済運営上の責任を示すというより、権威主義やボス支配、密室のだんごうを正当化する用語となってきた」(『東と西』共同通信社 1998年)

6-3：リー・クワンユー

「欧米人は、アジア経済とともにアジアの価値は崩壊するとみていますが、それは間違っています。崩壊したのはアジアのお粗末なシステムです。お粗末な銀行管理体制、金融システム、金銭管理システムです」(『日経ビジネス』1999年7月12日号)

7：中国、全面介入へ

付表：世界華商大会(WORLD CHINESE ENTREPRENEURS CONVENTION)の概要

日時	開催地	スローガン	参加国地域/都市数/ 人数
----	-----	-------	------------------

第1回：1991年8月	シンガポール	地球規模のネットを	30/75/800人余
第2回：93年11月	香港	華商は世界に遍く、 五洲(せかい)で創業を	21/94/1000人余
第3回：95年12月	バンコク	世界の華商の連係を 強化し、経済繁栄を 共に図ろう	23/80/1500人余
第4回：97年8月	バンクーバー	IT通信と情報技術の グローバル市場への 影響	20/不明/1300人余
第5回：99年10月	メルボルン	新しい先年への挑 戦、華商からグロー バル・ビジネスへ	20/不明/800人余
第6回：01年9月	南京	華商は新世紀に手を 携え、平和のうちに 共に発展を	不明/不明/5000人余
第7回：03年7月	クアラルンプール	地球を囲み華商は一 心一徳、地球規模で の共存共栄を	20/100/3300人余
第8回：05年10月	ソウル	華商と共に成長し、 世界と共に繁栄を	28/不明/3300人余
第9回：07年9月	神戸・大阪	和合共贏し恵みを世 界に	22/不明/3000人余
第10回：09年11月	マニラ	華商の連帯を強化 し、世界の繁栄を促 そう	22/不明/3000人余
第11回：11年9月	シンガポール	新たな枠組み、新華 商、新たな活力	32/不明/4000人余
第12回：13年	成都		